宮本　遥香

［2005年度卒業／57回生］

アーティスト

1987年広島県出身。19歳で渡英し、2011年にロンドンのチェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインのテキスタイルデザイン・コースを卒業。卒業作品「ドードー」がロンドン芸術大学６校の代表としてヴィクトリア・アンド・アルバート博物館に展示される。映画「レ・ミゼラブル」、「ワンチャンス」、ディズニー映画、実写版「シンデレラ」、「メリー・ポピンズ リターンズ」などの衣装・小物製作のほか、レディー・ガガの空飛ぶ衣装「ボランティス」などを手がける。

大好きな自然がこれ以上なくならないように

基町高校２年生の時、手作りティディベアの国際大会で優勝し、将来は留学したいという夢を持っていました。卒業後は立命館大学に進学したのですが、留学の夢をあきらめきれず、大学をやめてイギリスの学校に入学しました。最初はロンドン・カレッジ・オブ・ファッションという大学で靴のコースに進んだのですが、もっとスケールの大きい、ファイン・アート寄りのことがしたくなりテキスタイルのコースに転向しました。大学卒業前にブラック・アイド・ピーズ（アメリカのヒップ・ホップグループ）の世界ツアーの衣装で靴を担当する機会に恵まれました。この仕事を手がけたことでコスチュームの仕事に興味を持つようになり、「レ・ミゼラブル」、「シンデレラ」などの映画衣装を手掛けることになりました。現在はゴミや廃品などを利用して、絶滅してしまった動物や絶滅危惧種の動物をモチーフにしたアート作品も作っています。大好きな自然がこれ以上なくならないように、人々にその問題を考えてもらうきっかけづくりとなるような作品を作りたいと思っています。特に、子どもたちに対していなくなってしまった動物を、資料で見るだけではなく実際にその形を見て、手で触れてもらえるような作品を作り、教育活動にも使っていただけたらと願っています。